

参考様式第9-2号(第9条関係)

現在、リハビリテーション部では、院内で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用について、当院の倫理審査委員会の承認を得て、病院長の許可を受けて実施するものです。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供してほしくない」と思われた場合にも下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡ください。

<p>【研究課題名】 急性期骨粗鬆症性椎体骨折患者における退院時 ADL および歩行機能に影響を与える因子の調査</p>
<p>【研究対象者】</p> <p>2022年6月14日から2024年5月31日のうち、新鮮椎体骨折(多椎体、再骨折を含む)と診断され本院に入院し、リハビリテーションを実施された方</p>
<p>【利用している残余検体・診療情報等の項目】</p> <p>〔診療情報等〕</p> <p>研究対象者について、下記の臨床情報を電子カルテより取得します。</p> <p>① 患者基本情報:性別、年齢、身長、体重、既往歴、既存椎体骨折の有無、受傷前日常生活動作、受傷前骨粗鬆症治療薬</p> <p>② 入院に関する情報:受傷日、骨折椎体レベル、コルセットの種類、受傷機転、受傷から入院までの日数、入院から理学療法開始までの日数、ベッド上安静指示の期間、歩行許可から歩行可能となった日にずれがあれば記載、入院から離床までの実日数、入院日数、入院期間中理学療法総単位数、入院中作業療法の有無、作業療法有の場合の内容、入院中作業療法総単位数、骨粗鬆症治療薬、その他治療薬、椎体圧潰率</p>
<p>【利用の目的】(遺伝子解析研究(有・<b>無</b>))</p> <p>本研究の目的は、保存治療にて入院した新鮮骨粗鬆症性椎体骨折症例の退院時日常生活動作および歩行機能に影響を与える因子について調査することです。これにより、入院中の新鮮骨粗鬆症性椎体骨折症例への対応として優先すべき因子を提唱することです。</p>
<p>【主な共同研究機関及び研究責任者】(営利企業との共同: 有・<b>無</b>)</p> <p>上記の診療情報等を本院の研究責任者と共同研究者にて閲覧します。</p> <p>また、下記機関の研究代表施設代表者に情報を提供し、学会発表および論文を作成します。</p> <p>〔主な提供方法〕<input type="checkbox"/>直接渡し <input type="checkbox"/>郵送・宅配 <input checked="" type="checkbox"/>電子的配信 <input type="checkbox"/>その他</p> <p>〔本院共同研究者〕</p> <p>医療法人社団高邦会 高木病院 リハビリテーション科 理学療法士 香田 重治, 下村 拓也, 中村 駿佑</p> <p>〔研究代表施設〕</p> <p>医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院 リハビリテーション科 理学療法士 兵頭優幸</p>
<p>【利用期間】</p> <p>2022年6月14日～2025年9月30日までの間</p>

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【医療法人社団高邦会 高木病院 研究責任者及び研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者:平田 靖典

電話:0944-87-0001(代表)(内線:3242)(対応可能時間:平日9時～17時)

Fax:0944-87-9310

Eメール:16s1147@giuhw.ac.jp